

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 7 年 4 月 14 日(2025.4.14)

【国際公開番号】WO2018/201192

【公表番号】特表 2020-518621(P2020-518621A)

【公表日】令和 2 年 6 月 25 日(2020.6.25)

【出願番号】特願 2019-560254(P2019-560254)

【国際特許分類】

C 0 7 D 4 0 1 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 1 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 K 3 1 / 5 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 7 D 4 0 3 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 1 1 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 3 1 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 7 D 4 0 1 / 1 4 C S P

A 6 1 P 1 1 / 0 0

A 6 1 K 3 1 / 5 0 6

C 0 7 D 4 0 3 / 0 4

A 6 1 P 1 1 / 0 6

A 6 1 P 3 1 / 1 2

20

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 7 年 3 月 31 日(2025.3.31)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

30

【 0 1 0 7 】

本明細書では、用語「複素環式」又は「ヘテロシクリル」は、飽和であるか、または 1 以上の不飽和度を有し、S、S(O)、S(O)₂、O、又は N から選択される 1 以上のヘテロ原子置換を含む非芳香族複素環を指す。用語「C₃~7ヘテロシクリル」は、3~7 個の炭素原子（すなわち 3、4、5、6 又は 7 個の炭素原子）を有し、本明細書で言及される 1 以上のヘテロ原子置換を含む非芳香族環式炭化水素環を指す。複素環式部分は置換されていてよく、複数の置換度が許容される。用語「C₃~7ヘテロシクリル」は、C₄~5、C₅~7、C₆~7、C₄~7、C₄~6、及び C₅~6 炭素原子を含むヘテロシクリル基も含む。好ましくは、複素環は、4~6 個の炭素原子及び 1 又は 2 個のヘテロ原子を含む。より好ましくは、複素環は、5 個の炭素原子及び 1 個のヘテロ原子、又は 4 個の炭素原子及び 2 個のヘテロ原子置換、又は 5 個の炭素原子及び 1 個のヘテロ原子を含む。そのような環は、任意選択で、1 個以上の他の「複素環式」環又はシクロアルキル環に縮合していてよい。「複素環式」部分の例には、テトラヒドロフラン、ピラン、オキセタン、1,4-ジオキサン、1,3-ジオキサン、ピペリジン、ピペラジン、N-メチルピペラジニル、2,4-ピペラジンジオン、ピロリジン、イミダゾリジン、ピラゾリジン、モルホリン、チオモルホリン、テトラヒドロチオピラン、テトラヒドロチオフエンなどがあるが、これらに限定されない

40

50